

ショートステイ便り



ショートステイではお好み焼きの調理レクリエーションを行いました。
今回は生地から調理して出来立ての美味しいお好み焼きを皆で一緒に食べました。

生地を混ぜるのは一苦労ですが、ご利用者同士で声を掛け合い、手伝い合って最後まで作ることができました！

ショートステイでは調理レクだけではなく、落ち着いて取り組める書道や座ったまま身体を動かせるボーリング、的当て、そしてカラオケなど様々なレクリエーションをご用意しています。お気軽に、ぜひお越しください。

介護事業部第二課 大嶋優里



第29回あゆみえん納涼祭



今年もあゆみえん納涼祭を開催いたしました。本番当日を迎えるにあたり、職員一同で様々な準備をしてきました。盆踊りに参加した職員は一ヶ月以上前から集まり練習を行い、盆踊りを知らないEPA職員は先輩職員に教わりながら一生懸命練習に励んでいました。本番当日は炎天下の中設営業者と協力してテントや檣、屋台の準備を行いました。本番ではあゆみ保育園の園児や地域の方々も参加をされ、今年のスローガンであった「世代を超えた笑顔いっぱいの納涼祭」を達成することができました。来年度も多くの方々のご参加をお待ちしております。

介護事業部第四課 井上涼未



あゆみえんインフォメーション

詳しいお問い合わせは、あゆみえん、相談課まで
電話 **0428-30-5550**

あゆみ VOL.117

発行 社会福祉法人 徳心会
特別養護老人ホーム あゆみえん 広報委員会
〒198-0024 東京都青梅市新町9丁目2153番地3
TEL.0428-30-5550 FAX.0428-30-5570
発行人 園長 岸田和代
編集人 広報委員長 岸清孝
発行日 令和7年10月15日
E-mail ayumien@tokushinkai.jp
H P https://tokushinkai.jp/



※写真につきましては、ご利用者およびご家族の了解を得て掲載しております。
※撮影のため一部マスクをはずしております。

秋の風が心地よく感じられる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今号では8月に開催された納涼祭を紹介させていただきました。猛暑の中ではありますが笑顔溢れる夏のイベントを通じて、地域とのつながりの大切さを再確認することができました。

次号を楽しみに、素敵な秋をお過ごしください。

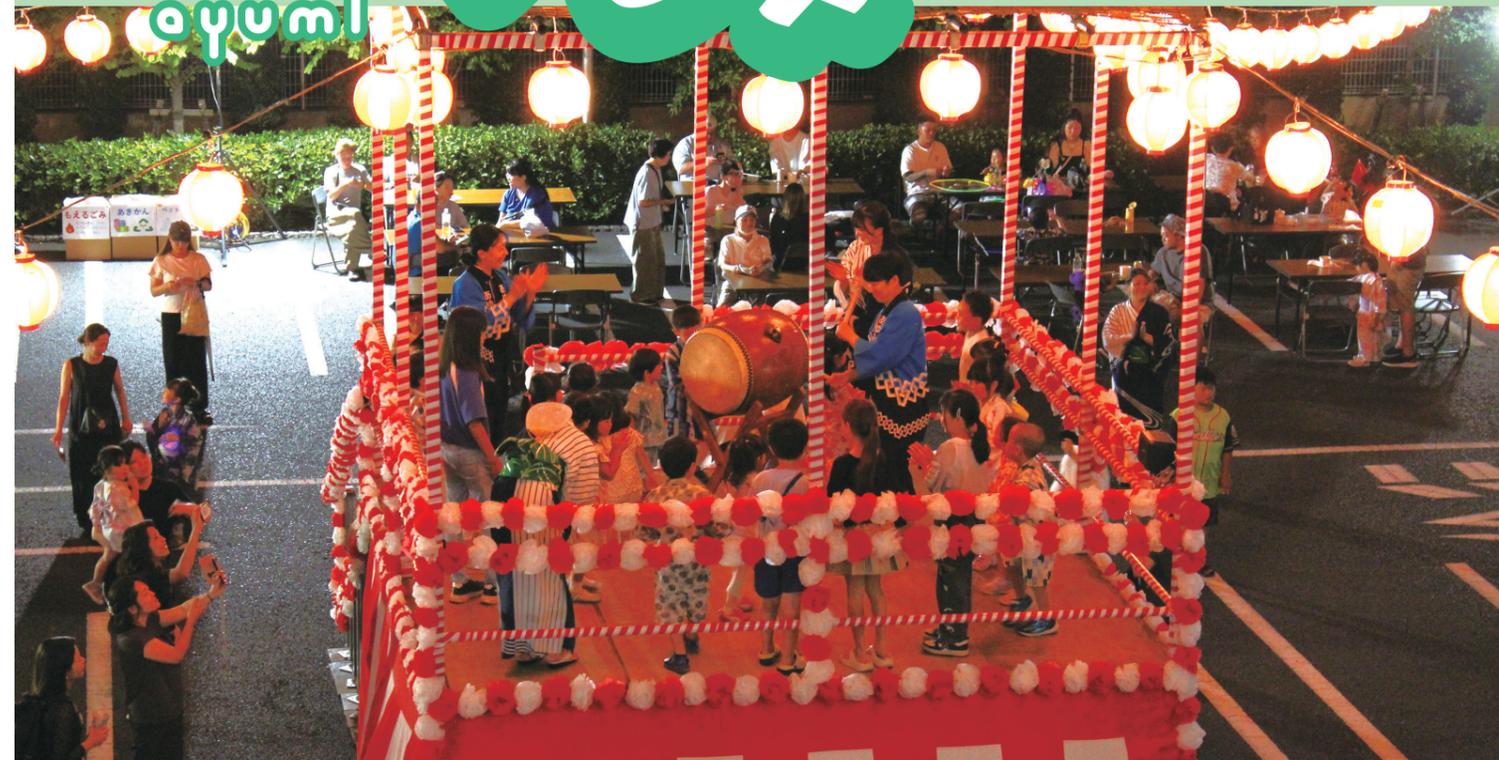
編集部一同



特別養護老人ホームあゆみえん広報誌

あゆみ ayumi vol.117

令和7年
秋号



ごあいさつ

暑さもようやく落ち着きつつあり、秋らしさを感じられるようになりました。季節の変わり目は体調を崩しやすいのでお身体ご自愛ください。

あゆみえんでは8月9日に第29回納涼祭を無事に開催することができました。今年度の納涼祭では「世代を超え笑顔いっぱいの納涼祭」をスローガンに掲げ、年齢を問わず誰もが楽しむことができる納涼祭を目標としました。

涼しい室内エリアには遊戯ブースを多く設置し、ご利用者やお子様と一緒に遊べる環境を用意しました。どのブースも行列ができるほど盛況で、多くのおみなさまに楽しんでいただくことができました。盆踊りではあゆみ保育園の先生が太鼓に挑戦しました。園児も檣の上で一緒に踊り、一体感のある光景を見ることができました。

あゆみえんではInstagramで施設の催しなどを投稿しています。今回参加できなかった方々にも来年は一緒に楽しんでいただきたいと思いますので、Instagramも是非ご覧になってください。

来年度も多くの方々に楽しんでいただける納涼祭が開催できるよう、職員一同協力して取り組んでまいりますのでご期待ください。

納涼祭実行委員長 原純一

法人理念

「働き易い職場を創り、快適なサービスを提供する。」



敬老式典

9月15日、あゆみえんにて敬老式典を開催しました。当日はご利用者の長寿をお祝いし、ご健康とご多幸を祈念いたしました。式典ではご来賓の皆さまより温かい祝辞を賜り、会場は和やかで感謝の気持ちに包まれました。

午後には地域ボランティアの皆さまによる大正琴の演奏、マジックショー、南京玉すだれが披露され、ご利用者の皆さまは大変喜ばれ、笑顔があふれるひとときとなりました。

ご出席くださいましたご来賓の皆さま、ご家族様、心温まる演目を披露してくださいました地域ボランティアの皆さまに心から感謝申し上げます。



介護事業部第四課 岸清孝



あゆみ保育園だより



さわやかな秋晴れの日が続き、運動会に向けて、子ども達は元気に走り回りダンスをしたりして、がんばっています。秋は運動会以外にもお芋掘りや秋の遠足、体験学習など楽しい行事がたくさんあります。あゆみえんの特色

子どもたちが育てたすいかです！

のひとつでもある世代間交流も園児とご利用者の皆様と心温まるとてもいい時間を過ごしています。

あゆみ保育園 園長 濱中美穂



デイサービスセンター

あゆみえんです！

厳しい残暑がまだまだ続いていますが、少しずつ秋風が心地よい季節になってきました。デイサービスでは、職員と利用者の皆様と一緒に楽しむ夏祭りを開催しました。手作りの金魚すくいや射的で遊んだり、たこ焼き、かき氷を食べたりと夏を感じていただき皆さんの笑顔が見られた夏祭りになりました。

介護事業部第一課 波多野実咲



医務課便り

高齢者の肺炎は命に関わる

誤嚥性肺炎とは、唾液や飲食物などが誤って気管に入り、それと一緒に細菌などが肺に入り込むことで起こる肺炎です。65歳以上では、気管に入ったものを咳で外に出す力が弱くなったり、飲み込む力が弱くなっているため、誤嚥が起りやすくなります。また誤嚥するのは飲食物に限りません。

たとえば肺炎球菌などの細菌が唾液に含まれていると肺炎を起こすことがあります。誤嚥性肺炎の多くは唾液に含まれる細菌が原因になります。

誤嚥しやすい方は繰り返し誤嚥性肺炎を起こすようになります。

口腔ケアで誤嚥性肺炎を予防しましょう



常に口の中を清潔に保つことは肺炎予防にとっても重要なことなのです。

口の中には数千億個の細菌が存在し、歯みがきが不十分で口の中が汚れていると、むし歯や歯周病などを引き起こす細菌も増え、細菌数は1兆個を超えるほどです。誤嚥したときに口の中の細菌が気管から肺に流れ込むと、肺に炎症を引き起こします。肺炎を引き起こす細菌には歯周病を起こす細菌や入れ歯についている細菌が多くみられます。口腔ケアを習慣にして、口の中の雑菌を減らし、誤嚥性肺炎を予防しましょう。

医務課 入山奈央

在宅事業部

訪問ヘルパー日記

訪問ヘルパーの山口と申します。

訪問ヘルパーの仕事に就いて10年以上経ちますが今年初めて身内の介護をする事になりました。

自宅での介護は、ある程度はスムーズに段取りを組め、立ち回ることが出来るだろうと思っていたのですが、如何せん身内となると全く勝手が違い、心配な事も多く、些細な事で揉める事が日常茶飯事でした。そんな我々家族を支えてくれたのは担当ケアマネジャーと往診の先生、そして訪問看護のスタッフでした。

末期がんの母は、自宅に一日でも早く帰りたいと切に願いました。迅速に対応してくれた在宅事業に関わる皆様のおかげで、家に帰ってくる事ができました。『訪問ヘルパー』も在宅生活を支える一員であると自分の仕事を振り返ることができました。『いつもの暮らし』が続けられるよう支える、やりがいのある仕事だと改めて思いました。

以上が私の最近の出来事です。一緒に働くヘルパーを募集して欲しいことがあります。訪問ヘルパーの仕事がどんな仕事なのかそこまで認知されていないのではないかと…

そこで、色々と考え、たとえば『見学』や『体験』などを手軽に出来る機会が必要ではないかなと。気になった方はぜひ (^_^)



在宅事業部第1課 訪問介護 山口英樹